

2022 年 2 月 8 日

(全 6 枚)

京都大学記者クラブ加盟社 各位

大分県政記者室加盟社 各位

別府市役所市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学

立命館アジア太平洋大学

2022 年度一般選抜入学試験における出題ミスについて(3 件)

標記につきまして、2022 年 2 月 1 日（火）に実施いたしました、Ⅰ「立命館大学・立命館アジア太平洋大学の一般選抜入学試験、『選択科目』の『日本史』」、Ⅱ「立命館大学・立命館アジア太平洋大学の一般選抜入学試験、『選択科目』の『地理』」、および 2022 年 2 月 2 日（水）に実施いたしました、Ⅲ「立命館大学の一般選抜入学試験、『選択科目』の『生物』」それぞれにおきまして、出題ミスがありました。

内容および対応について、以下の通りお知らせしますとともに、受験生ならびに関係者各位に深くお詫び申し上げます。

記

Ⅰ．立命館大学・立命館アジア太平洋大学の一般選抜入学試験「選択科目」の「日本史」

1. 試験日 2022 年 2 月 1 日（火）
2. 対象入試方式 立命館大学：全学統一方式（文系）、日本史
立命館アジア太平洋大学：前期方式 [スタンダード 3 教科型]、日本史
3. 対象学部 <立命館大学>
法学部法学科、産業社会学部現代社会学科、国際関係学部国際関係学科、
文学部人文学科、映像学部映像学科、経営学部国際経営学科、経営学部経営学科、
政策科学部政策科学科、総合心理学部総合心理学科、経済学部経済学科、
スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科、
食マネジメント学部食マネジメント学科
<立命館アジア太平洋大学>
アジア太平洋学部、国際経営学部
4. 合格発表日 2022 年 2 月 17 日（木）
5. 内容および対応
科目名 : 選択科目「日本史」
受験者数：2,756 名（立命館大学 2,694 名、立命館アジア太平洋大学 62 名）
該当箇所：大問Ⅰの本文の 5 行目の年号に以下の誤記がありました。
(誤) 1882 年 → (正) 1822 年 別紙 1 ご参照
対 応：この年号の誤記は解答に影響は及ぼさないため、対応は行いません。

6. 原因と判明経緯

問題作成・校正時の点検が不十分であったことによるものです。試験実施後に本学での点検の中でミスが判明しました。

7. 受験生への周知方法について

立命館大学入試情報サイトの「お知らせ」に掲載いたします。

II. 立命館大学・立命館アジア太平洋大学の一般選抜入学試験「選択科目」の「地理」

1. 試験日 2022年2月1日（火）

2. 対象入試方式 立命館大学：全学統一方式（文系）、地理
立命館アジア太平洋大学：前期方式 [スタンダード3教科型]、地理

3. 対象学部 <立命館大学>
法学部法学科、産業社会学部現代社会学科、
国際関係学部国際関係学科、文学部人文学科、映像学部映像学科、
経営学部国際経営学科、経営学部経営学科、政策科学部政策科学科、
総合心理学部総合心理学科、経済学部経済学科、
スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科、
食マネジメント学部食マネジメント学科
<立命館アジア太平洋大学>
アジア太平洋学部、国際経営学部

4. 合格発表日 2022年2月17日（木）

5. 内容および対応

科目名：選択科目「地理」

受験者数：244名（立命館大学231名、立命館アジア太平洋大学13名）

該当箇所：大問Ⅰの地形図中にDで示した地図記号に誤りがありました。 別紙2ご参照

対応：大問Ⅰの[10]（2点）を全員正解とします。

6. 原因と判明経緯

問題作成・校正時の点検が不十分であったことによるものです。試験実施後に本学での点検の中でミスが判明しました。

7. 受験生への周知方法について

立命館大学入試情報サイトの「お知らせ」に掲載いたします。

III. 立命館大学の一般選抜入学試験「選択科目」の「生物」

1. 試験日 2022年2月2日（水）

2. 対象入試方式 全学統一方式（理系）、生物：情報理工学部、生命科学部
薬学方式、生物：薬学部
理系型3教科方式、生物：スポーツ健康科学部、食マネジメント学部

3. 対象学部 情報理工学部情報理工学科、生命科学部応用化学科、生命科学部生物工学科、
生命科学部生命情報学科、生命科学部生命医科学科、薬学部薬学科、

薬学部創薬科学科、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科、

4. 合格発表日 情報理工学部・生命科学部・薬学部：2022年2月16日（水）

スポーツ健康科学部・食マネジメント学部：2022年2月17日（木）

5. 内容および対応

科目名：選択科目「生物」

受験者数：448名

該当箇所：大問Ⅱの本文の6行目の「肝臓へ流入する全血液量の70%」は「肝臓へ流入する全血液量の30%」の誤記であり、これにより問題文に矛盾が生じたため、関連する設問[1]の と および設問[2]の（ア）の の解答が不能となった。

ご参照

対 応：設問[1]の と および設問[2]の（ア）の を全員正解とする（各1点、合計3点）。

6. 原因と判明経緯

問題作成・校正時の点検が不十分であったことによるものです。試験実施後に本学での点検の中でミスが判明しました。

7. 受験生への周知方法について

立命館大学入試情報サイトの「お知らせ」に掲載いたします。

IV. 再発防止対策および大学のコメント

本学では、入学試験問題の作成にあたり、各科目における二重、三重の点検を行う組織的な体制をとってきました。今回の事態はこのような点検体制が十分に機能しなかったことから、今一度、点検体制のあり方を見直して再発防止策を検討し、具体化してまいります。

以 上

【本件お問い合わせ先】

立命館大学広報課(担当：立岩・曾谷)

電話：075-813-8300

日本史

I 次の文章を読み、(a)～(g)の問いに答えよ。

徳川光圀は、下野国那須郡で発見された国造碑に記された人物の墓所を明らかにするため、現在上侍塚・下侍塚と呼ばれている古墳の調査を行った。また、19世紀初頭には **A** が『山陵志』を著し、古墳の変遷を考察した。このとき初めて鍵穴形の古墳に対して、「前方後円」の用語が使用された。

1882年に、福岡県三雲では弥生時代の墓から、鏡や玉璧、青銅製武器などが発見され、青柳種信が形状・寸法などを正確な図とともに記録に残している。同じ頃、ヨーロッパでは、デンマークの考古学者トムセンが石器から **B**、そして **C** へと実用利器的材質が変化するという三時代区分法を提唱し、考古学史上の一つの画期となっている。

明治時代に入り、1872年に堺県により大仙陵古墳の前方部の石室が調査されたが、その2年後には古墳濫掘を禁止する太政官布告が出された。近代産業の育成のためお雇い外国人がさまざまな分野で活躍したが、現在の造幣局にあたる大阪造幣寮に招聘されたイギリス人のゴーランドは古墳への関心が高く、帰国後に前方後円墳などの図面を数多く発表し、その起源について論じた。

大正時代になり、県知事の発案による「皇祖発祥の霊地」の探究・保護を目的とした宮崎県西都原古墳群の調査が始まった。これが日本における最初の本格的な古墳調査である。同じ頃、大阪府津堂城山古墳の竪穴式石室の調査が実施され、古墳の実態が徐々に解明され始めた。八木榮三郎らによる「記紀」の紀年を用いた3期区分を批判した喜田貞吉は、1913年に発表した論文で古墳を2期に区分した。すなわち、前方後円墳に竪穴式石室を設置する前期と、横穴式石室を築く後期である。これは、「記紀」に基づいて横穴式石室を古く考える当時の理解とは大きく異なり、論争が起こった。

大正デモクラシーの風潮のもとで学問や芸術が発達した頃、濱田耕作は1913年から3年間ヨーロッパに留学し、ロンドン大学ではペトリに学んだ。帰国後、

スウェーデンの考古学者モンテリウスによって体系化された型式学的研究方法をふまえて『通論考古学』を著した。1917年、濱田は大阪府国府遺跡を調査し、縄文土器と弥生土器が異なる層から出土することを確認し、層位的な調査で縄文土器と弥生土器が異なる時代の所産であることを実証した。

(a) 下線部①に関連して、この二つの古墳の墳形は、出雲地方や古墳時代前期の東日本で多く採用されているものである。この墳形を何というか。もっとも適切な名称を答えよ。

(b) 空欄 **A** にあてはまる、もっとも適切な人名を答えよ。

(c) 下線部②に関連して、弥生時代は各地で異なる墓制が展開するが、北部九州では土器に遺体をおさめる埋葬施設が流行した。これを何というか。漢字3文字で答えよ。

(d) 下線部③に関連して、青銅製武器のほか弥生時代に大陸から導入されたものの例として、適切でないものを下から一つ選び、記号で答えよ。

⑥ 石包丁 ⑦ 石棒 ⑧ 鉄製武器 ⑨ 環濠集落

(e) 日本列島では、**B** と **C** がほぼ同時に使用され始めるのが特徴であり、**B** では主に祭器、**C** は主に工具や武器が見られる。

B と **C** の組み合わせとして、もっとも適切なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

⑩ B 玉器 C 青銅器 ⑪ B 玉器 C 鉄器

⑫ B 鉄器 C 青銅器 ⑬ B 青銅器 C 鉄器

(f) 下線部④は古墳時代中期に造営された日本最大の古墳であり、大王の墓と理解される。その周りには従属的な小型古墳が築造されている。これを何というか。もっとも適切な名称を答えよ。

(g) 下線部⑤の大仙陵古墳につく規模で、大阪府羽曳野市にある菅田御廟山古墳は、ある古墳群の中心的な巨大古墳である。この古墳群を何というか。もっとも適切な名称を答えよ。

地 理

I 次の地形図をよく読んで、〔1〕～〔13〕の問いに答えよ。なお、この地形図は等倍であり、平成9年発行（平成元年図式）のものである。



- 〔1〕 この地形図の縮尺を答えよ。
- 〔2〕 この地形図の主曲線は何 m 間隔で描かれているか、答えよ。
- 〔3〕 この地形図の投影法は何か、答えよ。
- 〔4〕 この地形図は、作成法で分類すると何と呼ばれるか、答えよ。
- 〔5〕 この地形図の測地系は何か、答えよ。
- 〔6〕 この地形図が示す範囲は、南北17 cm、東西14 cm である。実際の面積は何 km^2 か、答えよ。なお、地図の歪みは考慮しないものとする。
- 〔7〕 A 半島の西側にみられる B 付近の地形は何と呼ばれるか、答えよ。
- 〔8〕 A 半島最北端に位置する野寒布岬の緯度はおおよそ何度か、最も適切な数値を次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。
- ① 北緯48度27分 ② 北緯45度27分 ③ 北緯42度27分
④ 北緯39度27分 ⑤ 北緯36度27分
- 〔9〕 百年記念塔 (C) の立地点と A 半島北部に位置する自衛隊基地の建物との間の標高差はおおよそ何 m か、最も適切な数値を次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。
- ① 220 m ② 180 m ③ 140 m
④ 100 m ⑤ 60 m
- 〔10〕 D で示された地図記号の名称は何か、答えよ。
- 〔11〕 A 半島を取り巻く海岸線には、隠頭岩が多くみられる。隠頭岩とはどのような岩を指すか、簡潔に答えよ。また、隠頭岩よりも陸地側の海岸線に沿って、多くの水制 (.....) もみられる。この工作物は何のために設置されているか、その理由を簡潔に答えよ。
- 〔12〕 A 半島の東側と西側の沿岸では、市街地の発達に大きな違いがみられる。この半島の東側に市街地が発達した理由を簡潔に述べよ。

Ⅱ 次の文章を読み、〔1〕～〔5〕の問いに答えよ。

肝臓は、成人では1～2 kg かそれ以上の重さがあり、体内で最も大きな器官である。肝臓には、肝門脈と **あ** という異なる2つの血管を通して血液が流れ込んでいる。肝門脈は胃や **い** からくる太い静脈で、 **い** やひ臓を循環して栄養分を豊富に取り込んだ静脈血を肝臓へ運んでいるが、 **う** はほとんど消費し尽くされた血液が流れている。それでは肝臓の細胞が呼吸できないので肝門脈は、心臓からくる **あ** と合流して肝臓に **う** を供給する。肝臓へ流入する全血液量の70%は、 **あ** からくる血液である。血液は、肝臓内で2つの血管が合流したあとに毛細血管を経由して、直径1 mm ほどの大きさの **え** に流れる。そのあと栄養素を肝細胞へ分配し、ガス交換をしたのち、肝静脈、下大静脈を経て心臓にもどる。

また肝臓は、血液中のグルコース濃度の調節を行っており、血液中のグルコースをグリコーゲンとして蓄えてエネルギーの貯蔵を行っている。グルコース濃度のほかに、脂質の調節にも重要な器官である。脂質である脂肪は、すい液中のリパーゼなどの **はたらき**により、 **お** とモノグリセリドになる。コレステロール由来の **か** 酸は肝臓で合成され、脂肪の消化を促進する。 **か** の主要構成成分には、 **か** 酸、赤血球の主成分であるヘモグロビンが分解され生成する **き** やコレステロールが含まれる。 **か** は最終的に **く** に分泌される。タンパク質は消化管でアミノ酸に分解され、全身の細胞で 脱アミノ反応によって生じる **け** が遊離する。 **け** は生体にとって有害な物質であるため、肝臓で **こ** に代謝され、解毒される。

〔1〕 文章中の **あ** ～ **こ** にあてはまる語句を、解答用紙の 内に記入せよ。

〔2〕 下線部(a)に関して、次の問いに答えよ。

- (ア) 下の図1は肝臓における血管の結びつきを示している。肝門脈、 **あ** および肝静脈の血管はどれか。図中の①～⑥からそれぞれ1つずつ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。
- (イ) 図1中の胸腔と腹腔を隔てる膜Aが、けいれんしふると起こる現象は何か。解答用紙の 内に記入せよ。

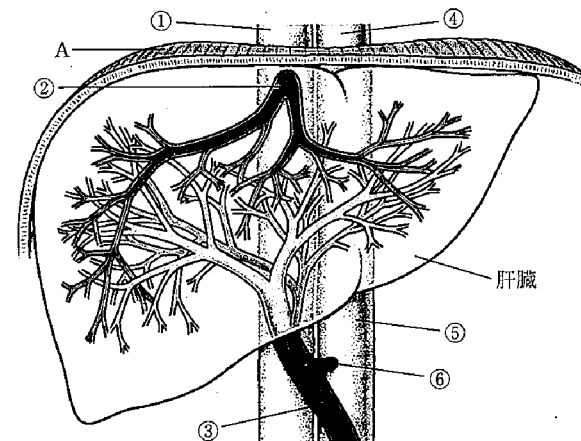


図1 肝臓における血管の結びつき

〔3〕 下線部(b)に関して、健康者における反応として正しい記述はどれか。下の選択肢の中から1つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- ① 食事をとると、異化作用により肝臓にグリコーゲンが蓄積する。
- ② 激しい運動をすると、同化作用が進む。
- ③ 空腹時の血糖の濃度は、およそ 200 mg/100 mL に維持されている。
- ④ 肝臓はタンパク質からもグルコースをつくることができる。
- ⑤ 食事をとってから血糖の濃度が一定に戻るまで6時間以上かかる。